



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社正興電機製作所

上場取引所 福

コード番号 6653

URL <http://www.seiko-denki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 信之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営統括本部長 (氏名) 田中 勉 (TEL) 092-473-8831

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 平成24年9月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	7,527	△17.2	76	△75.3	96	△70.3	30	△89.8
23年12月期第2四半期	9,087	△6.8	311	40.5	324	62.6	296	600.6

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 52百万円(△81.7%) 23年12月期第2四半期 285百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	2.56	—
23年12月期第2四半期	27.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	12,235	4,958	40.5
23年12月期	14,980	4,983	33.3

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 4,958百万円 23年12月期 4,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	6.50	11.50
24年12月期	—	5.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△7.5	320	△30.3	270	△41.6	200	△52.1	16.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	11,953,695株	23年12月期	11,953,695株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	121,414株	23年12月期	121,312株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	11,832,339株	23年12月期2Q	10,632,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要に牽引され、緩やかな回復を続けておりますが、一方では円高の長期化や欧州の債務問題の不安、また中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化などの影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは今年度よりスタートした新中期経営計画（CHALLENGE SEIKO IC 2014）の基本方針である『グループ総合力を発揮できる経営基盤を構築し、社会インフラ事業を中核とした高収益企業への変革を目指す』のもと、5つの重点課題（①事業戦略 ②コア技術戦略 ③グループ経営基盤戦略 ④人材マネジメント戦略 ⑤CSR経営の推進）に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、社会システムの公共関係については堅調に推移いたしました。電力システムにおいては前年同期に総合制御所システムなどの大口受注があったことより、受注高は7,642百万円（前年同期比 17.4%減）、売上高は7,527百万円（同 17.2%減）となりました。

損益につきましては、営業利益は76百万円（同 75.3%減）、経常利益は96百万円（同 70.3%減）、四半期純利益は30百万円（同 89.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（電力システム事業）

配電自動化システムやリプレース・メンテナンス市場に注力してまいりましたが、前年同期に総合制御所システムなどの大口受注があったことより、受注高は2,710百万円（前年同期比 38.6%減）、売上高は2,201百万円（同 21.6%減）となりました。

（社会システム事業）

産業関連は依然として設備投資の抑制により低調に推移いたしました。官公庁向けにおきましては水処理関連のインフラ設備の取込みにより、受注高は3,274百万円（前年同期比 18.1%増）、売上高は3,722百万円（同 17.2%減）となりました。

（情報システム事業）

金融向けシステムの受託開発や港湾向けのサービス分野においては堅調に推移しましたが、エネルギー会社向けが低調となり、受注高は732百万円（前年同期比 24.1%減）、売上高は678百万円（同 15.9%減）となりました。

（その他事業）

産業関連の設備投資の抑制や厳しい価格競争が続く、受注高は925百万円（前年同期比 16.0%減）、売上高は924百万円（同 5.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末と比較して2,955百万円減少の8,063百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,805百万円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末と比較して210百万円増加の4,172百万円となりました。これは主に、有形固定資産が古賀事業所の設備更新等により212百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、前連結会計年度末と比較して2,682百万円減少の5,315百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,714百万円減少したことや短期借入金が1,233百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、前連結会計年度末と比較して37百万円減少の1,961百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末と比較して24百万円減少の4,958百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が時価の上昇により30百万円増加したものの、利益剰余金が配当金の支払等により46百万円、為替換算調整勘定が8百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、現段階において平成24年5月14日に発表いたしました予想に対し、変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,672	1,650
受取手形及び売掛金	7,054	4,249
有価証券	138	74
商品及び製品	232	81
仕掛品	1,576	1,591
原材料	220	296
その他	183	167
貸倒引当金	△60	△48
流動資産合計	11,018	8,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,746	1,705
その他(純額)	829	1,083
有形固定資産合計	2,575	2,788
無形固定資産		
	131	125
投資その他の資産		
投資有価証券	1,177	1,185
その他	82	77
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	1,254	1,258
固定資産合計	3,961	4,172
資産合計	14,980	12,235
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,362	2,648
短期借入金	2,451	1,218
未払法人税等	37	24
工事損失引当金	—	28
その他	1,146	1,395
流動負債合計	7,997	5,315
固定負債		
退職給付引当金	1,704	1,708
その他	294	253
固定負債合計	1,999	1,961
負債合計	9,997	7,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323	2,323
資本剰余金	1,640	1,640
利益剰余金	1,151	1,105
自己株式	△52	△52
株主資本合計	5,063	5,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△85	△55
為替換算調整勘定	5	△2
その他の包括利益累計額合計	△80	△58
純資産合計	4,983	4,958
負債純資産合計	14,980	12,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	9,087	7,527
売上原価	7,435	6,092
売上総利益	1,651	1,434
販売費及び一般管理費	1,340	1,357
営業利益	311	76
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	10	9
受取賃貸料	8	8
貸倒引当金戻入額	15	14
その他	17	18
営業外収益合計	52	52
営業外費用		
支払利息	16	19
その他	22	12
営業外費用合計	39	32
経常利益	324	96
特別損失		
投資有価証券評価損	1	26
固定資産廃棄損	—	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11	—
特別損失合計	13	46
税金等調整前四半期純利益	311	50
法人税、住民税及び事業税	13	12
法人税等調整額	1	7
法人税等合計	14	20
少数株主損益調整前四半期純利益	296	30
四半期純利益	296	30

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	296	30
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	30
為替換算調整勘定	10	△8
その他の包括利益合計	△11	21
四半期包括利益	285	52
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285	52
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電力 システム	社会 システム	情報 システム	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,807	4,493	807	8,107	980	9,087	—	9,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19	124	143	451	595	△595	—
計	2,807	4,512	931	8,251	1,431	9,683	△595	9,087
セグメント利益又は 損失(△)	175	136	47	359	△48	311	—	311

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電力 システム	社会 システム	情報 システム	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,201	3,722	678	6,602	924	7,527	—	7,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	114	118	437	555	△555	—
計	2,201	3,725	793	6,721	1,361	8,082	△555	7,527
セグメント利益又は 損失(△)	89	16	25	131	△54	76	—	76

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器、電子装置、(高分子/液晶)複合膜フィルム等の製造販売、汎用電気品等の販売であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。